

神奈川県学校農業クラブ連盟「家畜審査競技会」が開催される

7月31日（月）に、神奈川県学校農業クラブ連盟主催の「家畜審査競技会」が、県内3校※から23名の高校生が選手として参加し、当所の牛舎で4年ぶりに開催されました。

競技は、乳牛と肉牛の2部門に分かれ、体の各部位や総合評価の優れた家畜を選び出す方法で行い、成畜と幼畜の審査結果の合計得点で順位が決定されます。家畜は、品種により体型や体格などに理想とされる姿（審査標準）があり、体型等を評価することで生産能力を判定する家畜審査は、家畜の改良を進めるために重要な技術です。

当日は酷暑の中ではありますが、各選手は制限時間いっぱいまで真剣に家畜と向き合い競技に取り組んでいました。競技終了後には、普及指導員から各家畜の体型の特徴や序列について講評が行われ、上位入賞者が表彰を受けました。今回の家畜審査競技会は、10月に熊本県で行われる全国大会（第74回日本学校農業クラブ 全国大会令和5年度熊本大会）の県予選も兼ねており、乳牛、肉牛、各部門の最上位者が県代表と選出されました。選出された選手の全国大会での活躍を祈ります。

当所は、競技会用の家畜の準備、審査部位の出題、競技後の講評等を担当しました。

※県立相原高等学校、中央農業高等学校、吉田島高等学校



乳牛審査の様子



肉牛審査の様子